

Farewell present of useful white flag, which Russian General's wife thought jolly gift when he leaves for front, telling him to see it as soon as he sees Japanese army.

日本 萬歲 百擲 百笑

○命の白物 骨皮道人

露將夫ちやア自己ハさう思ひ切ラ出陣する時移る  
 々を歎きの元ぢやア十二日左軍がイクラ強いの素  
 ちやアこの云ても自己の方が身体ハ大い  
 足ハ長トイサ逃るとまわらア決して自己ハ負け  
 ずい後ろへ自己ハもう逃げ一方と覺悟を  
 極めろッソレ此通り一滴の涙も出さぬ  
 然々お前もモウ其様ぢや泣いて呉  
 れるおサア出掛を止めるあま  
 せ房十二妾や泣  
 きも止め仕ま  
 せん併しそ迄  
 るとソお言ふ氣  
 をなれあやうに  
 屹度首尾す逃げ  
 負せ下さいけれ  
 ども又どうも遠い  
 人ま掛られあつて  
 限あいつ其時の用心  
 ぞ思ひ様か白旗を捲へくおまきま  
 露おら白旗々夫ハ何白あがごいどかせやふ  
 命の白物ぢやなご其活智のなほ話をも傍り  
 居る言やま可哀と思つるへロリと様子  
 出る

「ヒ、ンウフ、ーン」



り  
 精